

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2026 年 7 月 16 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	N X 仙台塩竈港運株式会社
所 在 地	〒985-8522 宮城県塩釜市貞山通一丁目 6 番 38 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 羽毛田 勉
担 当 者 連 絡 先	電 話：022-364-5111
	メール：kazuhiko.kato@nipponexpress.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://shiogama-koun.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 19 年（1944 年）に操業を開始した港湾運送事業を中心として様々な物流に携わる総合物流事業者であります。 宮城県にある仙台塩釜港の「仙台港区」・「塩釜港区」にて一般港湾運送事業・港湾荷役事業・貨物利用運送事業（内航・鉄道）・倉庫業・通関業・貨物自動車運送事業・船舶代理店業・産業廃棄物収集運搬業の各事業を執り行っております。 日本通運株式会社のグループ企業として、宮城の地と世界各国との間で貨物の橋渡しを行い東北地方の企業のみなさまに対し、物流を通して社会貢献を行っている企業になります。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	性別・年齢・障がい者に対して差別の内容に取り組んでおります。	管理職の女性比率を 25%以上に目指す。
✓環境 ✓社会 □経済	社会貢献活動に取り組む。	港湾地区の清掃活動に継続的に取り組み、地域に貢献する。
✓環境 □社会 ✓経済	SDGs の達成に向けた経営理念、経営目標を社内でも共有し、監視する。	環境に配慮した発電事業を行う記号を積極的に支援し、物流トータルでの CO2 削減を目指す。

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	宮城県主催のカーボンニュートラルポートの導入に賛同し、行政と共に活動する他、適宜対象車両の燃料消費率等を報告している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害化学物質のうち、フロンガスについては、フロン排出抑制法の枠組みで、遵守に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・環境に配慮した営業展開(モーダルシフトの提案等)を推進して、環境の保全に努めている。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・弊社が直接の水質悪化のトリガーにはなっていないが、利害関係者に海洋への油濁汚染防止の情報提供等を行い、水質汚染予防に努めている。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・基本方針8.に「省資源・省エネルギーにつとめ、環境にやさしいことを実施する」旨をHP上で開示している。 ・【予定】環境の取組結果の開示を検討する。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・電気自動車を複数台導入している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・関連企業より安全性を確保した製品・サービスを購入している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・業務手順書の他、写真による可視化を進めている。 ・業務フローにより無理無駄を予防し、業務の改善に努めている。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・環境に配慮したサービスを提供している顧客の運送の一端に加わることによって、環境に貢献している。 ・顧客に対しモーダルシフトの導入を提案している。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・サービスのライフサイクルの視点から、モーダルシフトの提案を促進し、環境に配慮したサービスの展開を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	行政を含めた地域企業との意見交換の場に参加している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・定期的に港湾地区の清掃活動に取り組んでいる。 ・社会悪物品の取扱い禁止に対するキャンペーン活動に参加している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・利用運送事業者に地元企業を登録するなど、地域振興に配慮している。								8	9		11	12	13				

